

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	衣料品専門店（統括）	・毎年6月下旬から秋にかけて、各地で夏祭り、秋祭り等の催事が多くなる。当店で祭り用品を多く販売していることから、来客数、販売量ともに増加する時期となるので、今年も期待している。
		家電量販店（店長）	・オリンピック需要や猛暑の傾向があることから、季節商品、特にエアコンの動きに期待がもてる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・市の観光客誘致が成功しているため、高齢者向けにターゲットを絞ったマーケティングをすれば成功する見込みである。
		スーパー（店長）	・夏物商品の動きが非常に良い。店舗付近に新たな競合店が開店する予定があるが、それまでは、非常に寒い夏であった前年との比較では良い状況となる。
		コンビニ（店長）	・商圏内の大型店が撤退し、代わりにテナントが入るので、プラスの影響があると期待している。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・6月に携帯通信料の定額制サービスが始まり、新商品が数機種発売されていることから、客の購買意欲が上向いており、今後もやや良くなる。
		スナック（経営者）	・フリーの客数が伸び悩んでいるものの、宴会の動きがいくらか上向いている。売上を中心は宴会なので、全体では上向き傾向にある。
		観光型ホテル（経営者）	・今年は例年並みかそれ以上の暑さという予報もあり、特に冷夏であった前年と比べると夏期の業績は良くなると期待している。
		旅行代理店（経営者）	・例年に比べ、今年は意外と申込が早く、受注単価も前年の5%程度上向き傾向にある。客の動きがようやく出てきたので、今後の景気はやや良くなる。
		タクシー（経営者）	・地元銀行破たんの影響も薄らいで活気もみえてきたので、これからはやや良くなる。
通信会社（営業担当）		・オリンピックをきっかけにデジタルテレビの価格が下がると、買い換えブームが到来することが予想される。家電製品の中でも高額品であるテレビが東京オリンピック時の購入ブームのように売れば、お金はかなり回るので景気は良くなる。	
美容室（経営者）	・若い従業員が自分の店を出すのに良い状況になりつつあるので、これから設備投資や支店の開設等が増加すると見込んでいる。		
変わらない		商店街（代表者）	・中には毎日残業が続いている会社も一部あるが、ほとんどはボーナスも出ないようなので、とても景気の回復は望めない。
		一般小売店〔金物〕（経営者）	・建築関係の状況が全然好転しない中で、これから良くなるということも考えられないので、変わらない。
		百貨店（店長）	・4月の売上は前年比96%台、5月が80%台、6月は95%台と、すべて前年割れの水準であり、先の景気が良くなる要素もみえない。
		スーパー（統括）	・円高傾向に拍車がかかるのと並行して、しばらくは商品の単価ダウンが続く。来客数の増加は、来店回数の増加によるもので、絶対数が伸びているわけではない。来客数の増加、単価ダウンの状況は変わらない。
		コンビニ（経営者）	・8月下旬～9月上旬は端境期で大きな増加は見込めないが、工業団地では優秀な製造業がフル操業を開始しているため、攻めの姿勢で何とか現状を維持する。
		衣料品専門店（経営者）	・長期予報によると、この夏はかなり暑くなるということなので、夏物衣料品のバーゲンが好調となる。
		衣料品専門店（店長）	・3か月後は秋物の立ち上がりの時期となる。涼しい日が続き天候に恵まれれば、業績は好転すると予想されるが、中心部のショッピングセンターが改装オープンセールを行うので、予断を許さない状況である。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車の投入もなく、イベントを開催しても来場者数の増加が見込めないで変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・客の値引きがかなり厳しく、単価の安い車しか売れない。展示会でも景品などを配らないと売れない。

		乗用車販売店（販売担当）	・ 宣伝をすれば中古車が売れるという状況なので、売行きは安定しているが、観光地を控えている当地においては、ホテル関係が立ち直らない限りは上向くことはない。観光産業は大揺れに揺れている。
		高級レストラン（店長）	・ 地域経済の低迷に加えて、中心街の空洞化も一向に打開策がみえない。この状況はしばらく続く。
		一般レストラン（経営者）	・ 既存商店街の客の流れが郊外、新駅周辺へと変わりつつあり、夜の街もその方向に流れている。
		一般レストラン（業務担当）	・ 7、8月の宴会（納涼会）の予約は前年並みに入っている。ここ2～3年続いた単価下落、1組当たりの客数減少も下げ止まった感がある。
		観光型ホテル（スタッフ）	・ 例年に比べ、夏休みに向けた宿泊予約が少ない。
		観光名所（職員）	・ 今年は天候にも恵まれ、気温も高く、客の入込は例年以上となるが、スーパーで食品等を調達して自分の別荘等で過ごす客が多く、ホテル、レストランの売上は例年並みで変わらない。
		ゴルフ場（副支配人）	・ 6月の来場者数は前年比で10%ほど減少し、売上も6%ほど減少している。今後3か月についても、中央では景気が良いといわれているが、地方ではまだ先がみえない。引き合いはあるものの、単価、売上がなかなか維持できない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・ 道路の状況、車のハード面の向上により、乗用車の走行距離が5年で10万キロというのも当たり前になってきている。部品交換が必要な消耗品も限られ、整備とサービスのあり方が少しずつ変わってきている。
		設計事務所（所長）	・ 住宅の建設意欲がないとはいえないが、将来への不安感が払拭されない状況下では、慎重な対応に迫られ、その考えは簡単には変わらないので、まだしばらくは現在のような状況が続く。
		住宅販売会社（経営者）	・ 不動産のデフレの進行が一向に収まらない。貸し店舗、アパート等の家賃も必ず値切り交渉をされるので、デフレはまだ続く。
	やや悪くなる	一般小売店〔青果〕（店長）	・ 毎月前年比100%に到達しない状況が続いているので、良くなるとは考えられない。
		スーパー（経営者）	・ 今月9日に大型店がオープンした割には思ったほど売上が減少していないが、これから影響が出て徐々に売上減となる。また、チラシ商品の売価が値ごろ感のある総額表示前の売価に戻っているため、利益も一層厳しくなる。
		スーパー（経営企画担当）	・ 8月と10月に新たな競合店が出店してくるので、影響がある。
		コンビニ（店長）	・ ボーナスが出たという話はあまり聞かない。また、少子化で近くの高校も1クラス減となった。前年並みとなれば良い方で、今の客の動きからはあまり期待できない。
		家電量販店（店長）	・ 家電品販売においては、季節指数、イベント指数が非常に大きなウェイトを占める。夏場のエアコン需要やオリンピックで6～7月は伸びるが、その動きも一段落し、秋口に入る3か月後は反動で厳しい状況となる。
		乗用車販売店（営業担当）	・ 見込み客数が非常に減り、商談件数が出てこない。
	悪くなる	コンビニ（店長）	・ 近隣に映画館が開店し、その隣に大型ショッピングセンターが間もなく開店する。当店を含めた既存の商店街は今後景気が悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 今現在、コンサルタントを依頼し、社員一丸となって販売関係に努力しているが、ハード面の修繕費を出せない状況なので、古くなった客室、ファブリック関係をどうするのが最大の課題である。地元銀行破たんについても、国が中小企業をどこまで援助してくれるのか心配している。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・ 韓国、台湾の影響を受けてか、半導体関連の受注は秋口まで結構入ってきている。そのために工場の増設も少し行わなくてはと前向きに検討している。
		輸送業（営業担当）	・ 今後も夏場の天候が良ければ、飲料水、夏場家電の輸送量を大幅に確保できると見込んでいる。
		広告代理店（営業担当）	・ 今まで消費を控えていたユーザーは、本当に欲しい物を求めている。欲しくない物はタダでもいらないが、良い物を見つければローンを組んでも購入する。良い提案や接客のできる人材がいる企業は本当に元気が良い。

	司法書士	・不動産取得に絡んだ先行投資的な話、相談が出始めているので、少し上向くのではないかと期待している。
変わらない	食料品製造業（製造担当）	・商品は夏場に向かい良く動く。利益については原料価格の高騰であり期待できない。
	食料品製造業（営業統括）	・7月には第2回国産ワインコンクールが開催され、マスクミ等で取り上げられて、話題性が出てくると思うが、直接商品に結び付くかは疑問である。
	金属製品製造業（経営者）	・大手の先の見通しは大変良いようで、大手上場企業、建機メーカー、ショベルやレッカー車のメーカーから新たな引き合いがきている。我々中小企業においては、鉄板類を中心に資材価格が大きく高騰しており、大変である。親会社が暫定的に価格転嫁を認めてくれてはいるが、8月から約10～12%の2度目となる値上げ要求が来ている。
	一般機械器具製造業（経営者）	・建設機械関連部品はやや減少する見込みであるが、自動車関連部品が増加しているので、作業量は現在と変わらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・新規取引先からの大量受注により、2～3か月先の売上は3～4割増加し、やや良くなる。既存の取引先については、以前と変わらない程度かやや落ちる見込みなので、変わらない。
	金融業（経営企画担当）	・地元観光地はいよいよ夏の観光シーズンとなるが、今年は隣県で大きなイベントが開催されているため、そちらへ観光客が流れており、例年より客足は伸びないようである。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・郊外では新規出店がみられるが、地元企業の動きは大変鈍い。市内で興行中の劇団主催者の話では、同じ興行でも当市は全国で最も悪いということである。
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・サービス業、流通業から新規スポットコマースの引き合いが出てきているが、単発的で期間が短く、受注金額が小口化している。長期的な大口コマースは見込めず、売上、利益とも伸びない。
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・原油の値上がりに伴い、原材料の鉄筋、砂利、砂、セメント等、軒並み値上がりしている。製品単価にどう反映させられるかが課題となっている。
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・今まで中国特需でわいていた建機関連の仕事が、今回の金融引締め策により、早速、生産調整の話が出始めているので、やや悪くなる。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・夏はハイジュエリーの需要が落ち込む時期であり、注文量が減少している。この2か月は停滞気味となるので、秋、冬用の企画を作成し、提案準備を進めている。
悪くなる	建設業（総務担当）	・地元銀行の破たんを考慮し、公共工事予算の大部分を上期に発注するとのことであるが、5月時点の受注残は前年度の51%と半減しており、人員の見直しを検討する段階にきている。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者） 学校〔短期大学〕（就職担当）
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・製造業の現場からの派遣要請は、業種によって好不況がある。事務職の要請は目立った動きがないので、全体としては横ばいである。一定のパイを競合他社と競り合うという状況や、派遣オーダーの内容、条件と登録スタッフの希望の乖離による契約成立数の伸び悩みは今後も続く。
	職業安定所（職員）	・前年同月比での求職者の減少、求人数の増加は続いているが、小規模の企業整備の予定が数件あり、一時国有化された地元銀行及び取引先企業の再生についていまだに不透明であることから、先行きに明るい見通しは立てられない。
	職業安定所（職員）	・新規求人、求職数は一定の水準で推移する見込みである。
	職業安定所（職員）	・5月に引き続き、新規求人数が減少している。新規求職者数も2か月連続減少しており、一進一退である。
	職業安定所（職員）	・新規求職者数が減少し、全体として落ち着きが見られるものの、中小企業で4～5名の人員整理が続いているので、変わらない。
	民間職業紹介機関（経営者）	・製造業の一部はミニバブルのような懸念があり、経営者は慎重な姿勢をみせ始めてきている。

やや悪くなる		
悪くなる	-	-